



### ごあいさつ

地域の皆さまの力強い後押しをいただき、道議会議員2期目のスタートを切ることができました。心より感謝申し上げます。

待ったなしの物価高騰対策と同時に、社会経済を回復から一層の成長へと押し上げるため、実効性のある政策実現と予算確保に全力を挙げてまいります。

そのためには、地域力の向上と未来を担う世代のすこ

やかな成長に向けた施策が重要です。私が一貫して取り組んでいる丘珠空港の機能強化と地域の活性化、子供たちのサポート体制の充実・強化について、引き続き全力を尽くす決意です。

さらなるご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

北海道議会議員 **渡邊 靖司**

## 丘珠空港の路線網が拡大! 機能強化の実現へ着実に前進

私、わたなべ靖司が道議初当選以来、一貫して取り組んでいる丘珠空港の滑走路延伸を含めた機能強化と強靱な交通ネットワークの確立が着実に前進しています。本年10月には、北海道エアシステム(HAC)が丘珠-秋田線の定期便(1日2往復4便)の就航を発表。同月29日には丘珠-中標津線が就航し、これに合わせてプロペラ機1機(48席)が導入され4機体制に拡充されました。



札幌市が昨年11月に策定した「丘珠空港の将来像」では、滑走路を1,500mから1,800mに延伸し、運用時間を現行より1時間程度拡大することで、道内外と結ぶ通年運航の路線数が2倍超の16路線(70便)程度に増加。旅客数も4倍近い約100万人を見込んでいます。丘珠空港が結節点となることで、観光やビジネスの新たな需要創出、地域力の向上により札幌、北海道の活性化の原動力となることが期待されています。その実現に向けて、さらに強力に取り組みを進めます。

取り組み内容		現 状	将 来 像
滑走路の延伸		1,500m	1,800m程度(300m程度の延伸)
運用時間の拡大		7:30~20:30	7:00~21:00(1時間程度の拡大)
路線の 拡充	路線数	道内5路線(通年)・道外3路線(うち2路線は夏ダイヤのみ)	道内6路線程度(通年)・道外10路線程度(通年)
	便数	<b>1日当たり30便(15往復)程度</b>	<b>1日当たり70便(35往復)程度</b>
	旅客数	<b>約27万人(2019年度)</b>	<b>100万人程度</b>

※航空機騒音の環境基準の範囲内での運用。

### やすじ わたなべ靖司の プロフィール

●昭和31年3月5日生まれ、A型 ●札幌市立北園小学校、明園中学校、札幌光星高校卒業、東海大学(中退) ●株式会社 丸信ワタナベ代表取締役【北海道議会】議会運営委員会理事、環境生活常任委員会副委員長、人口減少・地方分権改革等調査特別委員会理事【自民党道連】広報委員長【資格】宅地建物取引士、大型2種自動車免許【公職歴】●札幌青年会議所 副理事長 ●日本青年会議所 北海道地区協議会 運営専務 ●北海道私立幼稚園PTA連合会 会長 ●北園小学校PTA会長 ●東区PTA連合会 副会長 ●北海道神宮第28北栄祭典区代表委員長 ●札幌市東消防団 北栄分団 分団長【現職】 ●東区北栄連合町内会 顧問 ●北栄東町内会 副会長 ●札幌村郷土記念館保存会 相談役 ●札幌市東区少年軟式野球連盟 顧問 ●日本犬ぞり連盟 特別顧問

# 未来を担う子供たちのサポート体制の充実を!

## 鈴木知事らに対応強化を促す

第2回定例道議会(6月22日～7月14日)において、私、わたなべ靖司は一般質問に臨み、こどもホスピスや里親制度といった未来を担う子供たちのサポート体制、発生の切迫が予想される巨大地震による津波からの避難体制の構築などについて、鈴木知事をはじめ理事者と活発に議論しました。

### こどもホスピスについて

**渡邊** 障がいや重い病気を持つ子供やその家族に、病院や自宅以外で心の拠り所を提供する「こどもホスピス」について、国の「骨太の方針」には全国的普及に向けた取り組みの推進が盛り込まれている。他府県では民間団体が主体となって、こうした施設が開設されており、北海道でも必要と考える。道は今後、どのような体制でこの問題に取り組むのか。

**推進監** 「こどもホスピス」は、道内でも札幌市内においてプレオープンされていると承知している。道としても、保健福祉部子ども政策局が窓口となり、国の動向を注視しつつ関係団体や当事者の声を聞き、関係部局と連携しながら、病気と共に生きる子供たちと家族への支援を進めていく。



年10月の里親月間には市町村などと連携し、多様な媒体を通じた周知を行うなど重点的な取り組みをしている。引き続き効果的な情報発信に努め、今後はユースプランナー制度も活用し、SNS等による若者向けの情報発信の充実を図る。

### 津波からの避難について

**渡邊** いつ発生するかわからない巨大地震への備えとして、最優先すべきは早期避難の意識の向上。住民参加型の訓練を厳冬期にも実施するなど、あらゆる場面を想定した訓練を各地域で主体的に実施できるよう、道として支援する必要がある。道の取り組み状況と今後の対応について伺う。

**危機管理監** 国の「地域防災マネージャー」の資格を持つ退職自衛官を採用し、市町村の要望に応じたきめ細かな支援を行っている。今年度は、住民参加による津波からの避難訓練などの「北海道防災総合訓練」を10月に日高管内で、12月に十勝管内で実施する方向で地元自治体などと協議している。今後とも、市町村などと連携して実践的な防災訓練を積み重ねるとともに、市町村による防災訓練の支援に積極的に取り組んでいく。

### 里親制度について

**渡邊** 親の病気や虐待など、さまざまな事情で家族と離れて暮らす子供を自分の家庭に迎え入れ養育する「里親制度」について、北海道においても児童相談所などが中心となり、制度の周知や里親の新規開拓、支援などに取り組んでいるが、道民の認知度はまだまだ低いと感じる。さらなる広報・周知を行い、里親制度の正しい理解を促す必要があると考える。道の取り組みと今後の対応について伺う。

**知事** 令和2年度から各児童相談所に里親支援専門の児童福祉司を配置し、普及啓発や新規開拓に取り組んでいるほか、毎

### 〈その他の質問項目〉

- 昆布の生産回復
- ホタテガイのへい死
- 森林づくりを担う人材の確保・育成
- 新たな農地施策の推進
- 道内における空港政策

### ポッチャ体験



9月23日、北海道ボールパークFビレッジで初開催された「北海道ポッチャフェス2023」に参加し、東京パラリンピックで一躍注目競技となったポッチャを体験。障がい者スポーツへの理解を深めました。

### 北海道植樹祭



豊かな森林づくりと木育の推進に向けた「第73回 北海道植樹祭」が5月28日、厚真町で開催され、私も北海道森林・林業活性化推進協議連の一員として参加しました。

### 環境生活委員会函館視察(縄文遺跡群)



私が副委員長を務める道議会環境生活委員会で8月24、25日、世界文化遺産に登録された縄文遺跡群について函館市を訪問し、大泉潤市長と意見交換しました。